

令和5年度 一般会計（総務文教分科会）決算審査対象事業

No.	重点	事業名	決算額 (千円)	款	項	目	決算書 ページ	担当課	資料 ページ
1	デ・理 ス	山口東京理科大学との協創・データ活用による スマートシティ推進事業	29,687	2	1	9	152 ~ 155	デジタル推進課	1 ~ 6
2	①	協創によるまちづくり提案事業	5,011	2	1	9	152 ~ 155	シティセールス課	7 ~ 11
3	①	地域おこし協力隊募集・活用事業	886	2	1	10	154 ~ 159	シティセールス課	12 ~ 14
4	③	ゴルフ場P R事業	998	7	1	4	294 ~ 297	シティセールス課	15 ~ 16
5	①・ス	地域運営組織推進事業	4,089	2	1	22	168 ~ 169	市民活動推進課	17 ~ 19
6	①	集落支援員設置事業	9,088	2	1	22	168 ~ 169	市民活動推進課	20 ~ 21
7	③	サッカー交流公園運営業務	66,606	2	1	29	182 ~ 183	文化スポーツ推進課	22 ~ 25
8	デ	小学校社会科副読本デジタル化事業	9,160	10	2	2	334 ~ 337	学校教育課	26 ~ 27

令和5年度 一般会計（民生福祉分科会）決算審査対象事業

No.	重点	事業名	決算額 (千円)	款	項	目	決算書 ページ	担当課	資料 ページ
9	②	入学祝金給付事業	49,210	3	2	1	220 ~ 225	子育て支援課	28 ~ 28
10		認定こども園整備助成事業	192,694	3	2	1	220 ~ 225	子育て支援課	29 ~ 33
11	②	地域子ども健全育成事業	1,430	3	2	1	220 ~ 225	子育て支援課	34 ~ 37
12	②	子ども医療費助成拡充事業	114,379	3	2	2	224 ~ 227	子育て支援課	38 ~ 38
13	②	小野田地区公立保育所整備事業	21,608	3	2	4	228 ~ 233	子育て支援課	39 ~ 43
14	②・ス	葉酸サプリメント配布事業	239	4	1	1	242 ~ 249	健康増進課	44 ~ 44
15		飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業	1,271	4	1	3	248 ~ 251	環境課	45 ~ 47

令和5年度 一般会計（産業建設分科会）決算審査対象事業

No.	重点	事業名	決算額 (千円)	款	項	目	決算書 ページ	担当課	資料 ページ
16		浄化槽整備推進事業	69,682	4	1	3	248 ~ 251	下水道課	48 ~ 49
17		有害鳥獣対策協議会支援事業	385	6	2	2	280 ~ 281	農林水産課	50 ~ 51
18		市道くし山線道路改良事業	1,400	8	2	4	302 ~ 305	土木課	52 ~ 53
19	①	河川整備事業	0	8	3	1	306 ~ 307	土木課	54 ~ 55
20		厚狭駅前駐輪場整備事業	3,675	8	5	1	308 ~ 313	都市計画課	56 ~ 57
21	ス	テニスコート改修事業	27,919	8	5	2	312 ~ 317	都市計画課	58 ~ 59
22		市営住宅建替整備事業	63,726	8	6	2	322 ~ 323	建築住宅課	60 ~ 65

R5年度 事務事業評価シート				16	課・局・室・所(係)	下水道課	管理係	事務事業番号	218050101	
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤			18	水道の安定供給と下水道の充実		5	合併浄化槽の整備	
	実施計画名		事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	浄化槽整備推進事業		1	浄化槽整備推進事業					
事業概要	公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水整備区域外にある住宅に浄化槽を設置する人に対して補助金を交付する。 令和8年度までに汚水処理の概成を求められている中、令和2、3年度に汚水処理施設整備構想及び公共下水道全体計画の見直しを行い、公共下水道で整備する区域を縮小した。計画区域から除外された地域については今後、合併処理浄化槽の設置により汚水処理整備を進めていくこととなるため、従来の補助金に上乗せを行うことで汚水処理人口普及率の向上を図る。					対象	浄化槽設置者			
						手段	浄化槽設置者に対する補助金の交付			
						意図	浄化槽の維持管理による快適な生活環境の確保と水質の保全			

事業期間		R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)			
支出内訳		浄化槽設置整備事業補助金	19,492千円		浄化槽設置整備事業補助金	24,380千円	浄化槽設置整備事業補助金	69,682千円		浄化槽設置整備事業補助金	71,633千円
	合 計		19,492千円		24,380千円		69,682千円		71,633千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/3	1,067千円	1/3	8,531千円	1/3	20,029千円	1/3	20,030千円		
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		18,425千円		15,849千円		49,653千円		51,603千円		
	合 計		19,492千円		24,380千円		69,682千円		71,633千円		
人工数	人件費	0.50人	2,721千円	0.42人	2,760千円	0.50人	2,097千円				
総経費			22,213千円		27,140千円		71,779千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	浄化槽設置整備事業補助金の交付件数	活動		85基	60基	100基	100基
				50基	45基	92基	
				58.82%	75.00%	92.00%	
2	汚水処理人口普及率	成果		-	83.7%	84.7%	85.7%
				82.8%	84.4%	85.7%	
				-	100.84%	101.18%	
3							

成果	公共下水道全体計画の縮小に伴う上乗せ補助の実施により、昨年度から補助金の交付件数を大きく増加させ、汚水処理人口普及率の目標を達成している。また、転換工事への補助により、汲取りや単独浄化槽からの切替えも進み、水質保全に貢献している。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引き続き事業を実施して、公共下水道の整備と合わせて、汚水処理人口普及率を向上させる。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

令和5年度 浄化槽設置整備推進事業

単位：円

項目	令和5年度決算		備 考
【通常補助】	基数	金 額	国庫補助1/3
5人槽	22	7,304,000	
7人槽	17	7,038,000	
10人槽	1	548,000	
【上乘せ補助】	件数	金 額	国庫補助1/3 + 市費上乘せ
5人槽（上乘せ）	34	18,530,000	
7人槽（上乘せ）	17	11,543,000	
10人槽（上乘せ）	1	899,000	
【転換関連補助】	件数	金 額	国庫補助1/3
単独処理浄化槽処分	9	1,080,000	
単独処理浄化槽転換に係る配管設置	10	3,000,000	
汲取便槽処分	50	4,440,000	
汲取便槽転換に係る配管設置	51	15,300,000	
【合併処理浄化槽更新補助】	件数	金 額	市費単独
合併浄化槽更新	0	0	
小計	令和5年度 決算額	69,682,000	

【補助基数合計】

項目	基数
5人槽	56
7人槽	34
10人槽	2
単独転換	10
汲取転換	51

【設置件数推移】

年度	1	2	3	4	5
基 数	61	45	50	45	92
単独転換	4	4	5	1	10
汲取転換	25	19	17	21	51

※R5～上乘せ補助開始

※R2～単独、R4～汲取・・転換に係る処分費＋配管費補助開始

（R5～単独転換の処分費が9万円 → 12万円に増額）

R5年度 事務事業評価シート

17

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224020504

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)			
	4 産業・観光				24	農林水産業の推進			2	生産基盤の整備		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	5	有害鳥獣対策事業			4	有害鳥獣対策協議会支援事業						政策的
事業概要	鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資するため、山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部又は全部について、予算の範囲内で補助する。							対象	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会			
								手段	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部又は全部について、予算の範囲内で補助する。			
								意図	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営の円滑化を図り、鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資する。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	経常	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳	有害鳥獣対策協議会補助金	27千円		有害鳥獣対策協議会補助金	27千円		有害鳥獣対策協議会補助金	385千円		有害鳥獣対策協議会補助金 145千円
合 計		27千円			27千円			385千円		145千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	27千円			27千円			385千円		145千円
	合 計	27千円			27千円			385千円		145千円
人工数 人件費	0.10人	578千円		0.45人	2,580千円		0.22人	1,282千円		
総経費		605千円			2,607千円			1,667千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	協議会開催回数	活動	1件	1件	1件	1件
			3件	1件	1件	
			300.00%	100.00%	100.00%	
2	ICTわな	活動		1件	2件	2件
				1件	2件	
				100.00%	100.00%	
3						

成果	ICTわなを小野田地区・山陽地区に1か所ずつ親機を設置し、効率的な捕獲業務が行えるようになった。 また、実施隊活動における追い払い用備品を整備し、実施隊のうち6名がわな免許を取得したことで捕獲体制の強化を図った。					
R7年度に向けた課題及び改善策	捕獲隊や実施隊をはじめ、関係機関と引き続き連携を図りながら、捕獲体制の強化を図りたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

有害鳥獣対策協議会支援事業

費目	内容	金額
消耗品	電動エアガン バッテリー	20,240
消耗品	電動エアガン 充電器	8,184
消耗品	電動エアガン ケース	20,152
消耗品	腕章	128,480
消耗品	追払花火	45,880
消耗品	鉄くい	10,560
通信費	ICTわな通信費（親機2基分）	28,380
備品	電動エアガン	77,440
補助金	運営補助	27,000
合 計		366,316

R5年度 事務事業評価シート				18	課・局・室・所(係)	土木課	道路整備係	事務事業番号	219010104
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		19	道路・交通網及び港湾施設の充実		1	道路網の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	道路新設改良事業		4	市道くし山線道路改良事業				
事業概要	市道くし山線は、JR小野田駅の北側を東西に走り県道小野田山陽線と県道小野田美東線を結ぶ延長約870mの市道である。平成25年時点では、県道小野田山陽線の4車線化計画があったため、交差点改良に影響がない区間の整備は完了している。 この度、山口県が行っている県道小野田山陽線の4車線化事業による交差点改良に併せて、市道くし山線の未整備区間の拡幅および、歩道の設置を行うことで利用者の交通安全環境の向上を図る。					対象	市民		
						手段	用地買収、拡幅工事		
						意図	市民の安全と利便性向上		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					調査設計委託料	1,400千円	工事請負費	14,000千円
							補償費	4,000千円
							用地購入費	2,000千円
合計						1,400千円		20,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	700千円	1/2	10,000千円
	県支出金							
	地方債				90%	600千円	90%	9,000千円
	その他							
	一般財源					100千円		1,000千円
	合計					1,400千円		20,000千円
人工数 人件費					0.27人	1,573千円		
総経費						2,973千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	事業進捗率(事業費ベース)	活動				7%	27%
						2%	
						28.57%	
2							
3							

成果	県道小野田山陽線の拡幅事業に併せて実施する事業である。 R5年度は設計業務委託を発注していたが、受注者が令和5年6月30日以降の梅雨前線豪雨により発生した県内の災害対応業務に従事しており、それらを最優先に取組むために当該業務に係る業務期間に繰越が生じている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	引続き設計業務を進めるとともに、山口県と連携し事業に必要な調査業務等を実施していく必要がある。					
目標達成度	D	R7年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	
特記事項	R5→R6 繰越明許 4,596,100円(調査設計委託料)					

市道くし山線道路改良事業

事業区間 L=100m

くし山西
交差点

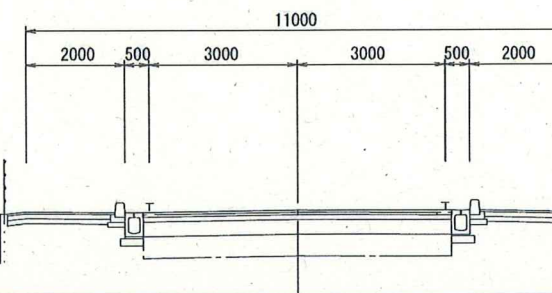
くし山1丁目

主要地方道小野田山陽線

栴山跨線橋

駐車場

標準断面図



○事業進捗

詳細設計業務委託（令和5年繰越予算）実施中

地質調査業務委託（令和6年当初予算）実施中

大字東高瀬

JR小野田駅

R5年度 事務事業評価シート

19

課・局・室・所(係)

土木課

河川港湾係

事務事業番号

209030902

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災		9	防災体制の充実		3	市域の保全		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	9	小規模河川保全事業		2	河川整備事業					施設維持管理
事業概要	境川は、上流の埴生山溜池にその源を発し、山間を南西に流下し瀬戸内海に注ぐ流路約1.0kmの普通河川である。流域の土地利用は、大部分が山林で、下流部の平地には農地が広がり、国道190号沿いに民家が集中している。また、上流域の開発、山陽自動車道、国道など土地利用状況が変化している。 当該河川は、未整備区間が複数点在しており、過去にも災害復旧を実施するなど被災履歴を有する。なお、台風や集中豪雨などによる河川堤防の越水も報告されており、河川整備が望まれている。 このような状況から、未整備区間の護岸を整備し治水安全度の向上を図る。					対象	普通河川境川			
						手段	護岸整備			
						意図	環境保全、防災			

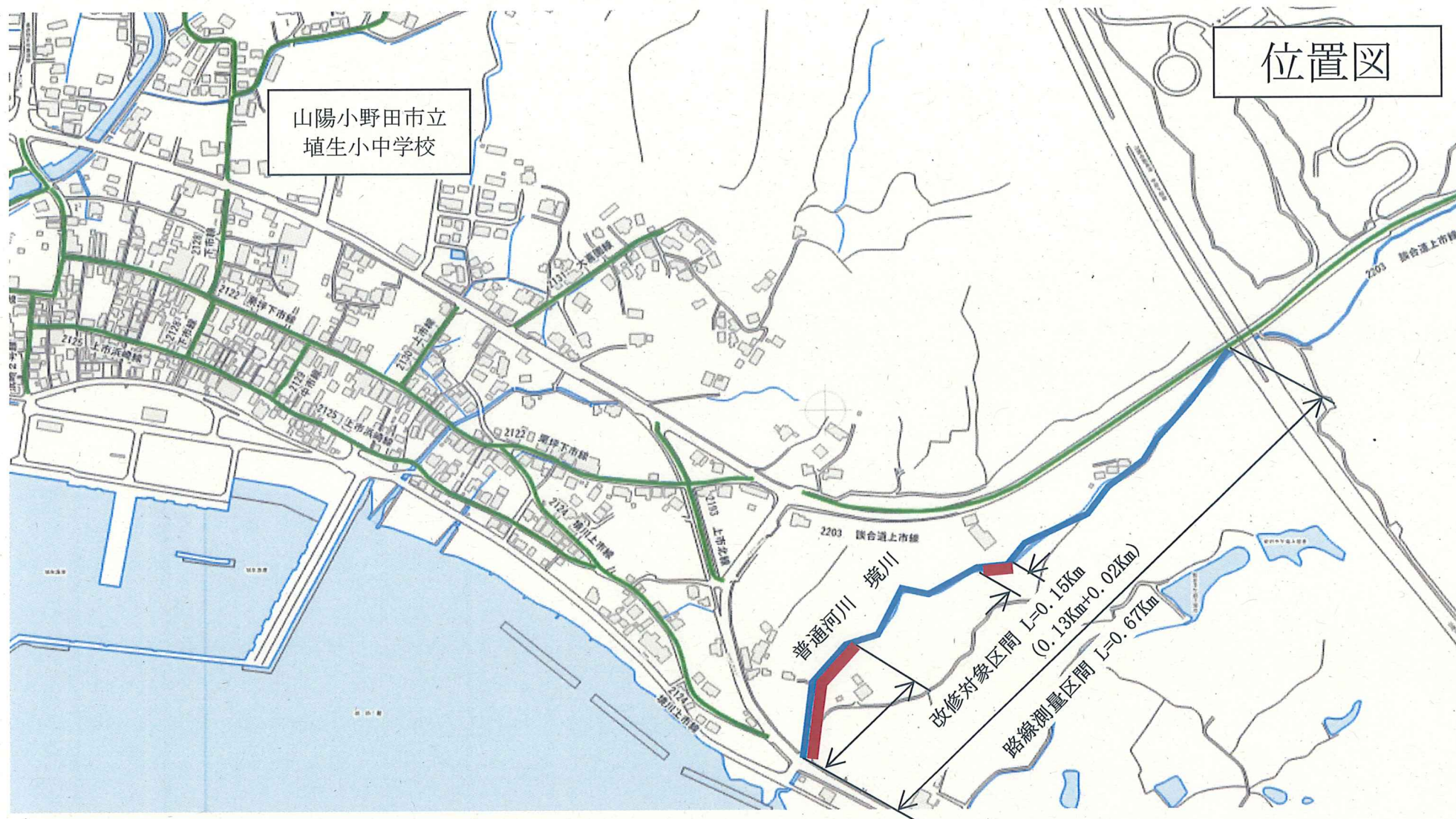
事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳							調査設計委託料	8,000千円
							用地購入費	2,000千円
合 計								10,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債						100%	10,000千円
	その他							
	一般財源							
	合 計							10,000千円
人工数 人件費					0.11人	641千円		
総経費						641千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	設計・工事	活動			基本設計 実施中 50.00%	詳細設計
2						
3						

成果	基本設計については業務委託契約を締結したが、委託先業者が山口県内で発生した7月豪雨に伴う災害復旧業務を優先して対応する事態となったため、業務完了期日を翌年度に延長した。					
R7年度に向けた課題及び改善策	令和7年度には工事に着工できるよう令和6年度において基本設計並びに詳細設計を完了させる。					
目標達成度	C	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	R5→R6 繰越明許 12,260千円(調査設計委託料)					

河川整備事業



R5年度 事務事業評価シート				20	課・局・室・所(係)	都市計画課	都市整備係	事務事業番号	219030201	
施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤			19	道路・交通網及び港湾施設の充実		3	駐車場・駐輪場の整備	
	実施計画名		事務事業名				重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	2	駐輪場整備事業		1	厚狹駅前駐輪場整備事業					
事業概要	JR厚狹駅周辺の駐輪スペース不足を解消するため、市有地を活用し、厚狹駅在来線側に駐輪場を整備する。					対象	市内自転車駐輪場			
						手段	駐輪場の整備			
						意図	駅の利便性向上			

事業期間	R5年度	～	R5年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					工事請負費(厚狹駅在来線)		3,675千円	
合計							3,675千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						3,675千円	
	合計							3,675千円
人工数 人件費					0.15人		874千円	
総経費							4,549千円	

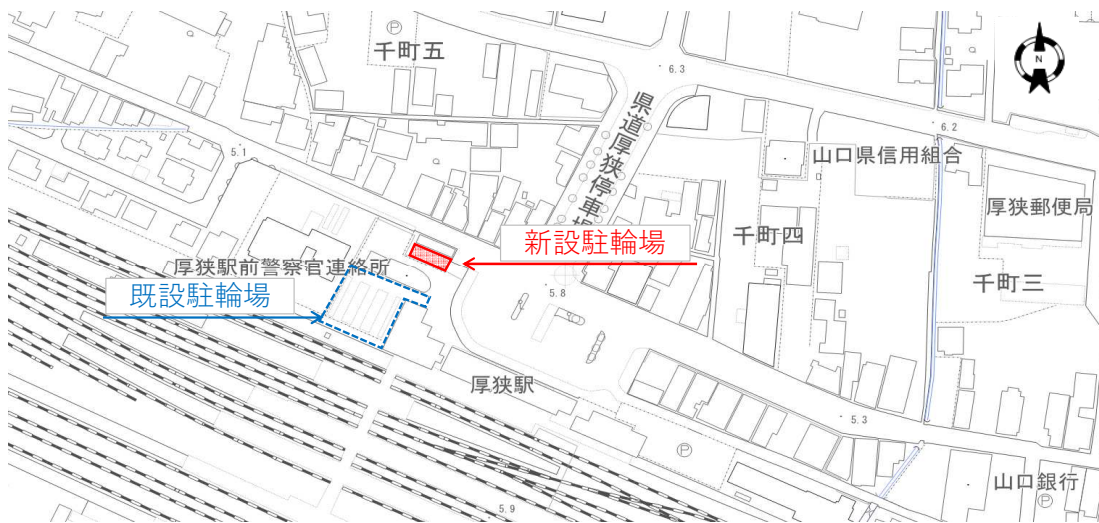
※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	改修箇所	活動			1	
					1	
					100.00%	
2						
3						

成果	令和6年1月下旬から新設駐輪場の供用を開始し、厚狹駅在来線口での駐輪スペース不足を解消することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R5	
特記事項						

厚狭駅前駐輪場整備事業

位置図



完了後（全景）



完了後（近景）



R5年度 事務事業評価シート

21

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

217010202

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤		17	公園・緑地の整備・保全		1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	都市公園施設整備事業	2	テニスコート改修事業				運動 交流	政策的	
事業概要	都市公園内にあるテニスコート3箇所(江汐公園、浜河内緑地、須恵健康公園)について、不陸、ラインの破損が発生しているため計画的に改修を行う。					対象	テニスコート			
	R5 補正予算(第5回) スポーツ振興くじ助成金の内示を受け財源内訳を補正。					手段	テニスコートの改修を行う。			
						意図	テニスコート利用者のため、適切な維持管理を行う。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)			R4(決算額)			R5(決算額)			R6(予算額)
支出内訳				(須恵健康公園)			(浜河内緑地)			
				工事請負費	19,569千円		工事請負費	27,919千円		
				4面改修			4面改修			
合計					19,569千円			27,919千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			75%	7,100千円	75%	12,900千円			
	その他			スポーツ振興くじ助成金	10,045千円	スポーツ振興くじ助成金	10,604千円			
	一般財源				2,424千円		4,415千円			
	合計				19,569千円		27,919千円			
人工数 人件費				0.10人	573千円	0.35人	2,219千円			
総経費					20,142千円		30,138千円			

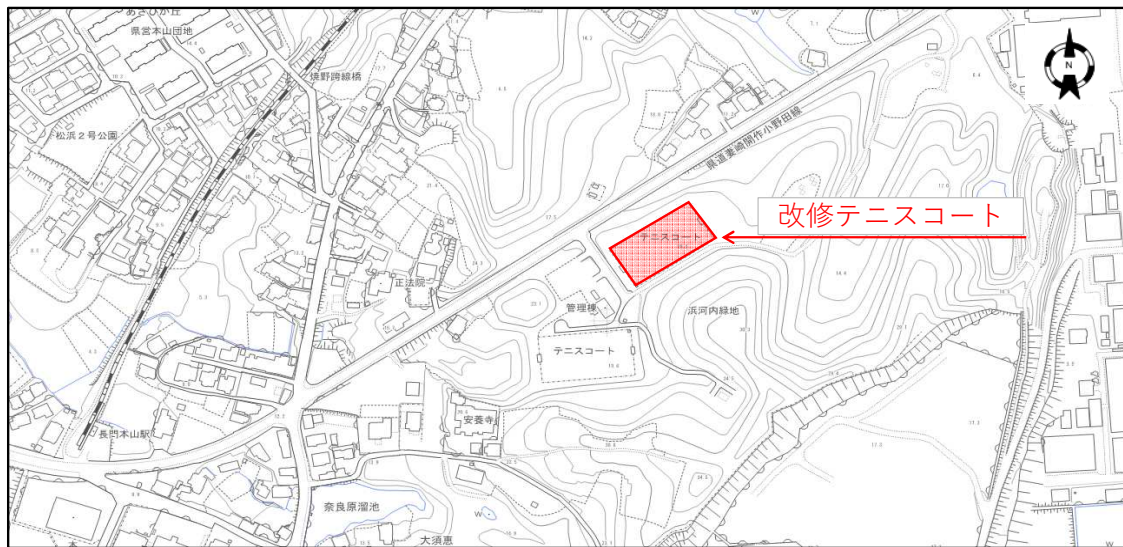
※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R3	R4	R5	R6
1	改修コート数	活動		4	4	
				4	4	
				100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	浜河内緑地のテニスコート8面中、4面について改修工事を完了した。コートの不陸、ラインなど設備更新したことによって、利便性と快適性を向上することができた。					
R7年度に向けた課題及び改善策	日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金を活用しながら事業を行いたい。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項	スポーツ振興くじ助成(地域スポーツ施設整備助成事業):スポーツ施設等整備事業:助成率(2/3)					

テニスコート改修事業

位置図



完了後（全景）



完了後（近景）



R5年度 事務事業評価シート				22	課・局・室・所(係)	建築住宅課	住宅管理係	事務事業番号	216020305
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	市営住宅長寿命化事業	5	市営住宅建替整備事業					政策的
事業概要	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数超過により安全性や設備水準が低い市営住宅の建替事業を計画的に実施し、市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。					対象	長寿命化計画において建替え事業の対象である市営住宅		
						手段	建替え事業の実施		
						意図	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。		

事業期間	R5年度	～	R10以降年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R3(決算額)		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(予算額)	
支出内訳					計画策定委託料	17,600千円	設計委託料	25,336千円
					測量調査委託料	19,290千円	工事請負費	23,760千円
					工事請負費	25,850千円	市営住宅入居者移転補償金	5,815千円
					市営住宅入居者移転補償金	241千円	修繕料	4,840千円
					通信運搬費	484千円	手数料	709千円
					手数料	241千円	アスベスト調査委託料	203千円
					会場借上料	20千円		
	合 計					63,726千円		60,663千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金				1/2	9,926千円	1/2	14,008千円
	県支出金							
	地方債						100%	5,100千円
	その他							
	一般財源					53,800千円		41,555千円
	合 計					63,726千円		60,663千円
人工数	人件費				0.67人	3,903千円		
総経費						67,629千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R3	R4	R5	R6
1	建替え事業の実施	活動				引越先改修工事等 完了 100.00%	引越先改修工事等
2							
3							

成果	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等につながっている。					
R7年度に向けた課題及び改善策	事業の実施に当たり、社会資本整備総合交付金を確保する必要がある。					
目標達成度	A	R7年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	
特記事項						

件名：市営住宅建替整備事業

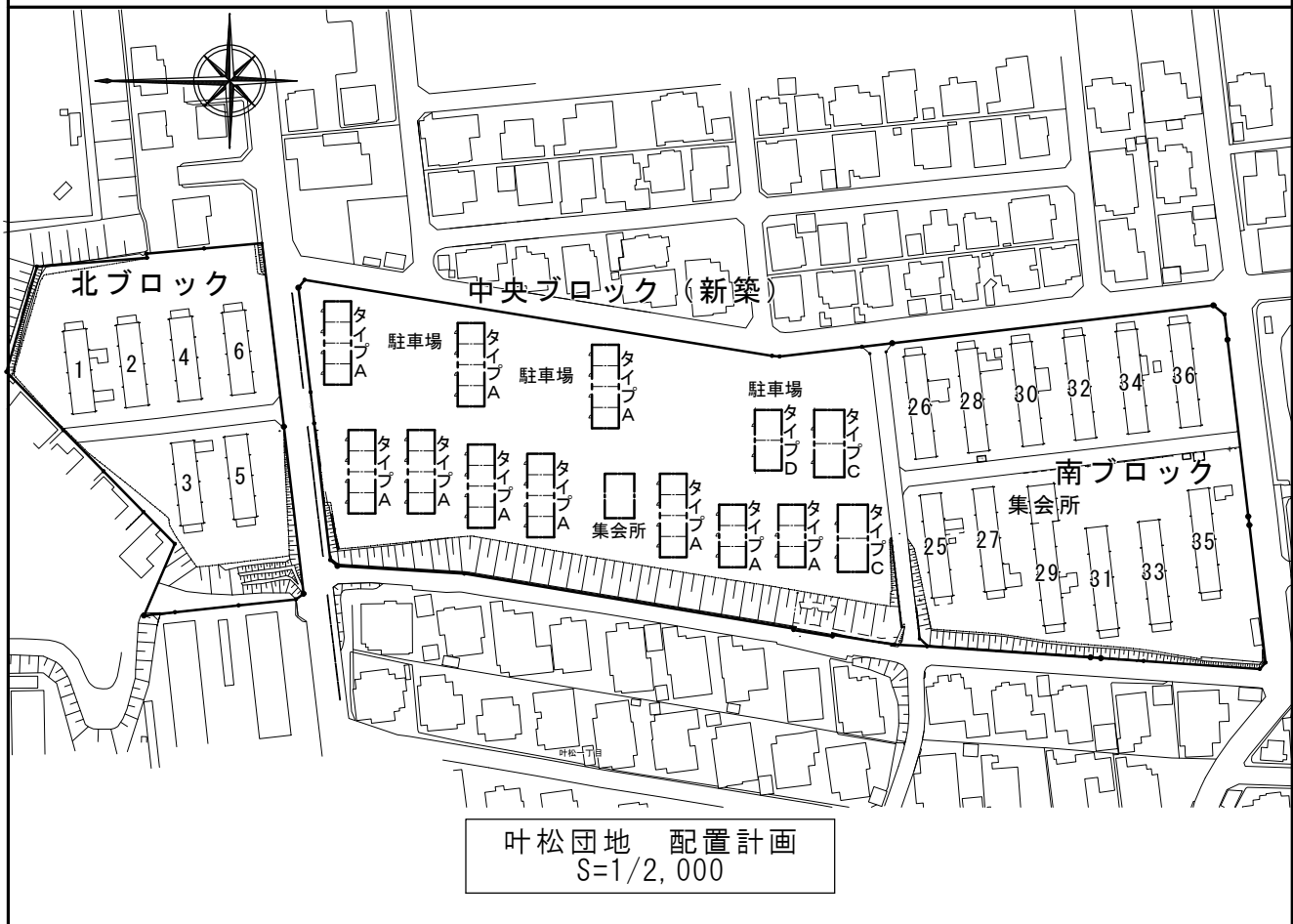
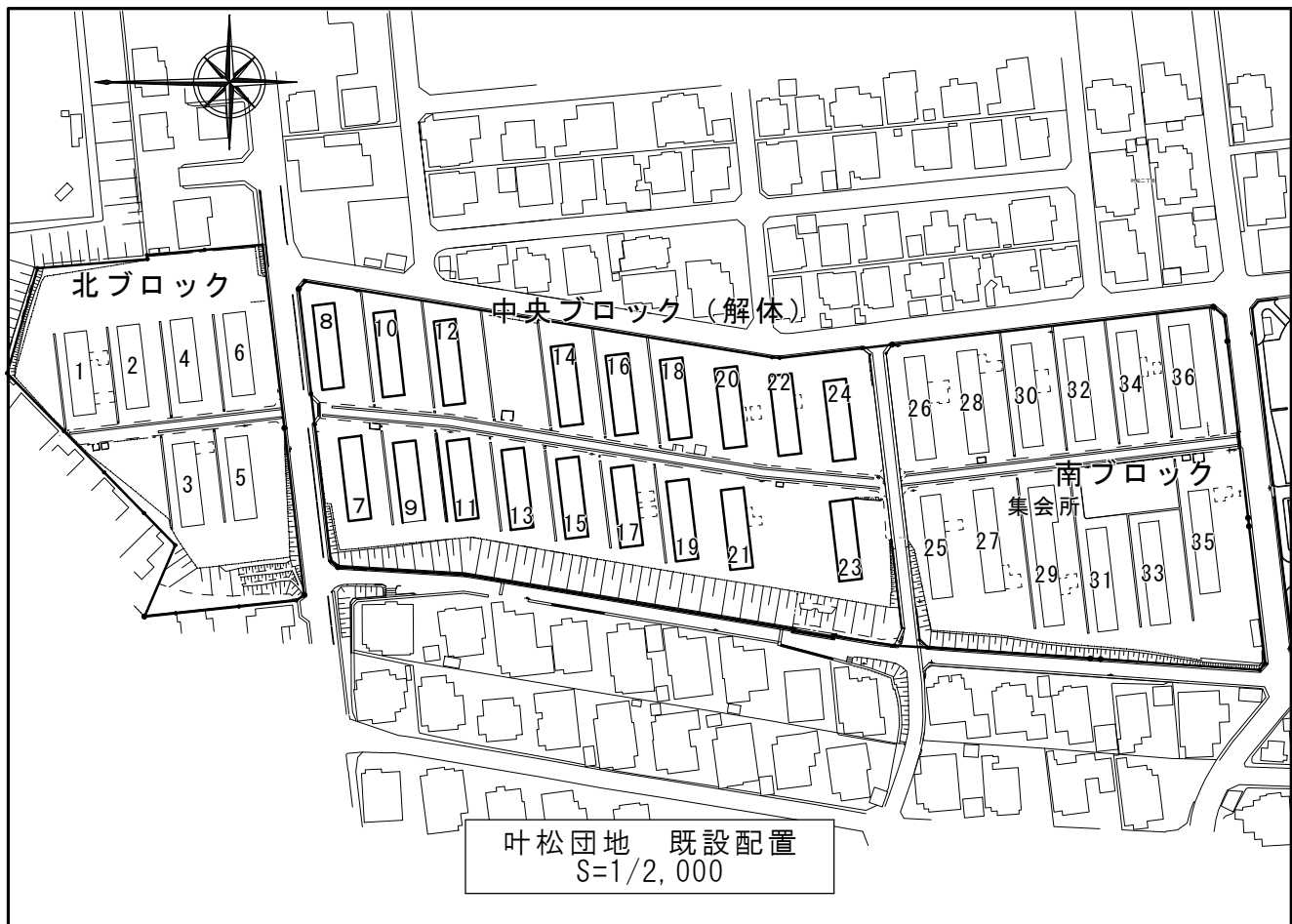
< 既設概要 >

名称	叶松団地	平原団地(未着手部分)	西善寺団地
建設年	S43(1968)～S45(1970)	S41(1966)～S42(1967)	S42(1967)～S45(1970)
構造	補強コンクリートブロック造	補強コンクリートブロック造	補強コンクリートブロック造
延床面積	5,573㎡	1,944㎡	1,032㎡
階数	平屋～2階	平屋～2階	平屋～2階
住戸数	150戸・集会所	48戸・集会所	26戸

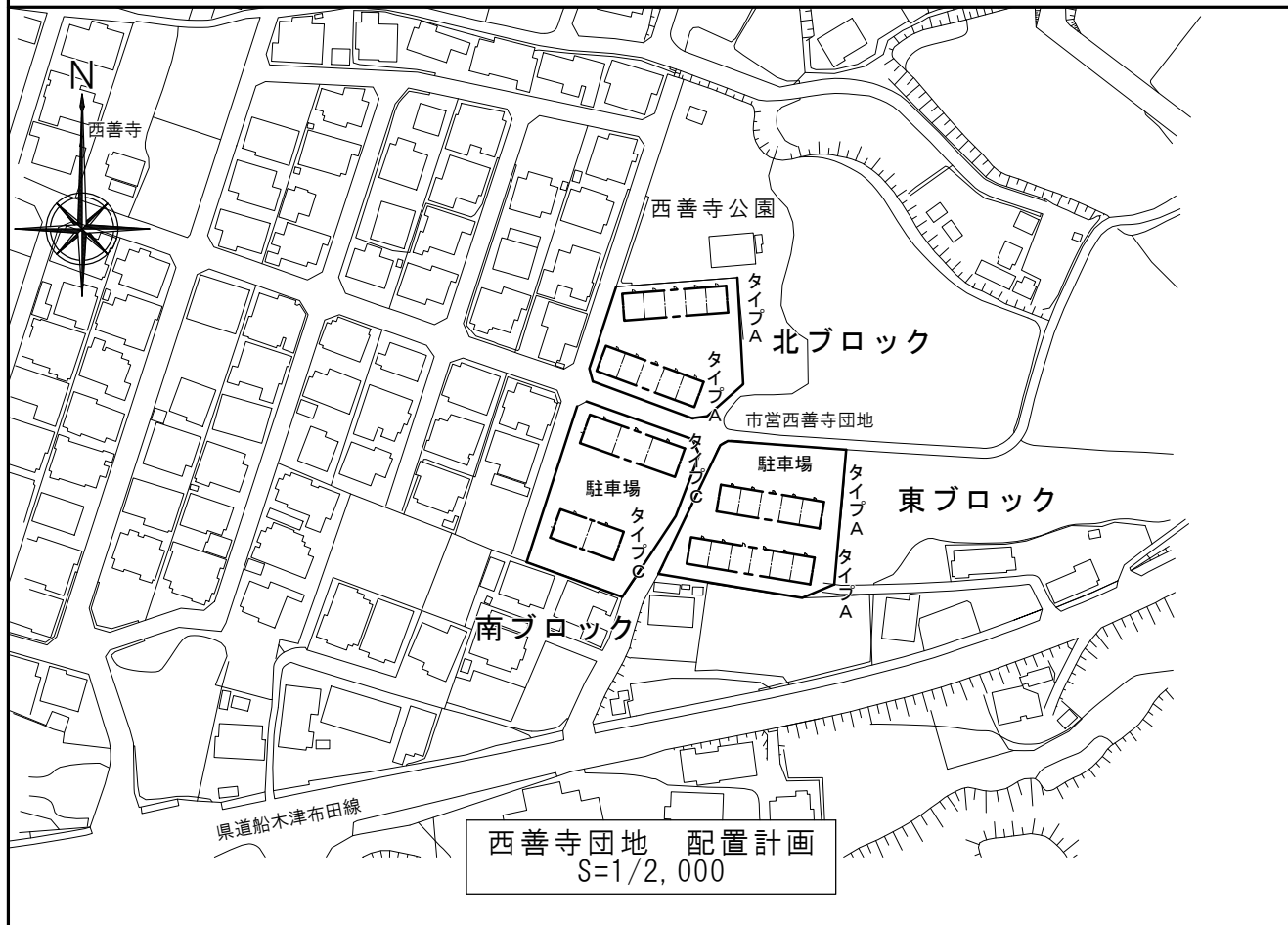
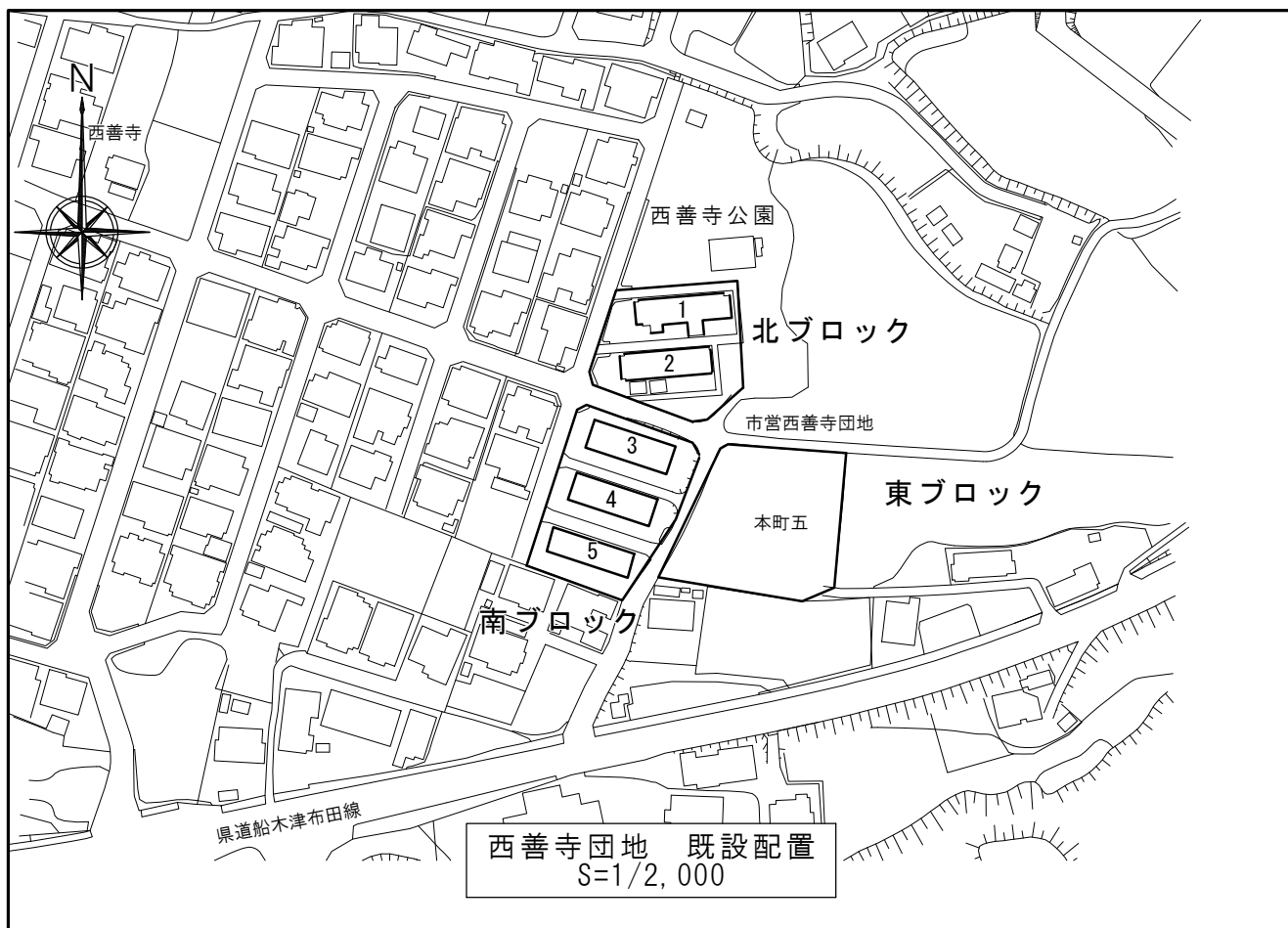
< 計画概要 >

名称	叶松団地	平原団地(未着手部分)	西善寺団地
階数	平屋	平屋	平屋
住戸数	48戸・集会所	40戸・集会所	26戸
うち			
タイプA	42戸	32戸	21戸
タイプC	4戸	8戸	5戸
タイプD	2戸	-戸	-戸

※ タイプA : 1～2人世帯向
 タイプC : ファミリー世帯向
 タイプD : 身障者用







・市営住宅建替整備事業に係る令和5年度決算額

歳出決算額		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
計画策定委託料	17,600,000円	0円	0円	0円	0円	17,600,000円
測量調査委託料	19,289,600円	9,644,000円	0円	0円	0円	9,645,600円
工事請負費	25,850,000円	0円	0円	0円	0円	25,850,000円
市営住宅入居者移転補償金	240,760円	109,000円	0円	0円	0円	131,760円
通信運搬費	484,000円	160,000円	0円	0円	0円	324,000円
手数料	240,900円	13,000円	0円	0円	0円	227,900円
会場借上料	20,000円	0円	0円	0円	0円	20,000円
合計	63,725,260円	9,926,000円	0円	0円	0円	53,799,260円